

平成29年12月8日  
帯広開発建設部**河川事業により被災農地の災害復旧を引き続き支援します  
～ 約13万4千m<sup>3</sup>の河道掘削土の提供を開始 ～**

帯広開発建設部では、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しています。

昨年8月の一連の台風災害の影響により表土流出等の被害があった十勝川流域の農地に対する災害復旧支援として、引き続き十勝川の河道掘削土の提供を行います。12月11日から2月下旬頃までにおよそ13万4千m<sup>3</sup>分の運搬(ダンプトラック約2万5千台分)を行う予定です。

昨年の北海道においては、8月17日から31日までの2週間に3つの台風が上陸、1つの台風の接近により道東を中心に記録的な大雨となり、十勝川流域の農地では、河川の氾濫等により表土流出などの大きな被害が発生しました。

帯広開発建設部では、河川整備計画等に基づき、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、河道掘削を実施しているところですが、今回被災した農地の迅速な災害復旧を図ることを目的として、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJA、帯広開発建設部などを構成員とする「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」が開催され、河川工事などにより発生する土砂の提供などについて協議を行いました。

帯広開発建設部では、同会議の協議に基づき調整が図られた農地に対し、昨年12月15日から河道掘削土の提供を行い、これまでに約44万m<sup>3</sup>の土砂を提供しました。今後も引き続き土砂の提供を行う予定です。

※プロジェクトの詳細は、以下のURL から御参照ください。

「北海道緊急治水対策プロジェクト」

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/ud49g7000000xh76-att/09\\_tisuipj.pdf](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/ud49g7000000xh76-att/09_tisuipj.pdf)

**【問合せ先】**

## ○河川掘削土の運搬に関すること

国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部  
池田河川事務所 副所長 坂内 利孝 電話 015-572-2661 (代表)

## ○その他に関すること

国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部  
治水課 課長 米元 光明 電話 0155-24-4105 (内線291)

帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



## 【十勝地方における取組】

○十勝川流域の農地では、平成28年8月の洪水などによって表土流失などの大きな被害が発生。これら農地の迅速な災害復旧を図るため、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJAなどとともに、「平成28年度大雨災害に係る農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」などを開催。

**帯広開発建設部**では、河川事業による農地の災害復旧支援のため、引き続き**12月11日から順次河道掘削土の運搬を行う。**

【運搬置土場所】  
清水町  
【運搬土砂量】  
約2万2千m<sup>3</sup>

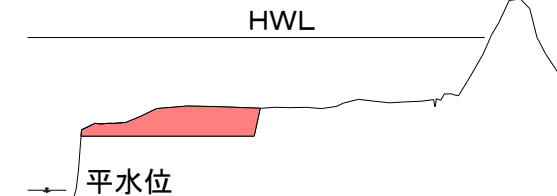
・合計運搬土砂量 約13万4千m<sup>3</sup>  
(帯広市・芽室町・清水町)  
・農家戸数 24戸  
・ダンプトラック換算台数  
約2万5千台

【運搬置土場所】  
帯広市  
【運搬土砂量】  
約5千m<sup>3</sup>

【運搬置土場所】  
芽室町  
【運搬土砂量】  
約10万7千m<sup>3</sup>

【河道掘削箇所】  
幕別町明野

## 【河道掘削箇所標準断面図】



# 十勝川における河道掘削土 取り組み内容

復旧前の農地



河川掘削土の搬出状況



復旧完了した農地



被災農地への積み卸し状況

